

V-CROSS 3 発進

「滑らかなRを連続させる安全設計」という設計思想に基づいて生れたVクロス3。PB-cLc帽体の採用により、軽量化とSNELL規格の安全性を両立。空気抵抗による「あおり」を低減した新設計Vクロス3バイザーと、Vラムインテーク、デルタダクト4、DFS-type-M、サイドダクト、ネックエキゾーストノズルによる高度なベンチレーション機能。冷/乾仕様ハイフィッティング内装による優れた快適性。新採用のエマージェンシータブ装備のシステムパッドによる新しい安全思想と、すべてにおいて最高水準を極めたオフロードヘルメットです。

安全思想を極めたフォルム

世界中のオフロードヘルメットに見受けられる、マウスガード部分を前方に大きく伸ばし、ヘルメット上部をスタイル優先で変形させるデザインとは一線を画し、Vクロス3のフォルムは、すべてが安全性に基き設計されています。マウスガード部が前方に長いほど、転倒の際に、抵抗となる恐れがあります。そこでVクロス3では、ヘルメットを装着状態での頭部中心点からマウスガード下部までの距離は実績あるVクロスからの距離を継承し、マウスガード部全体のフォルムも、滑らかなRを連続させ、転倒の際の引っ掛かりを防止します。さらに、マウスガード上部は、前方に11mm前進させ、口元の息遣いを軽減し、快適性を向上しています。フォルムの特徴となっているヘルメット下部のハイパーリップは、自動車のバンパーのような役目を持ち、ヘルメット下部の剛性を確保し、側面からの耐圧性能をアップしています。ヘルメット上部のデザイン上のアクセントにもなるエアダクトDFS-type-Mは、必要以上の衝撃に対しては壊れる安全設計がなされています。そのDFS-type-Mを装着したスタイルはF-1世界チャンピオンのヘルメット姿をイメージし設計されたものです。



オフロードに初採用 着脱式ディフューザーシステムDFS-type-M

優れたベンチレーションシステムをさらに向上させるために採用されたのが、ロードレースで実績あるディフューザーシステムDFS-type-Mです。バイザー下のVラムインテークからの風と共に、4箇所の排気孔から内部の熱気を排出します。さらにシャッター機能をそなえるだけでなく、オフロード用として泥詰まり等のメンテナンス性に考慮して、ディフューザーカバーを着脱可能としました。



5月中旬
発売

●モデル名: V-クロス 3

- 規格: スnellM、JIS
- 帽体: PB-cLc構造
- 色: 白、黒、アルミナシルバー
- サイズ: (53-54)、(55-56)、(57-58)、(59-60)、(61-62)
- 標準小売価格: ¥39,000 (税込 ¥40,950)

新しい安全思想 エマージェンシータブ

転倒したライダーのヘルメットをレスキュー隊など第三者が脱がさなければならぬ状況で、脱帽時の抵抗となるほほ部システムパッドの除去をスムーズに行なうことを目的として、システムパッドにエマージェンシータブを取付けました。昨シーズンの全日本モトクロス選手権でも、試作品を選手に提供し、レスキュー隊、オフィシャルにも事前説明しテストを重ねた中で、何名かのライダーの脱帽がスムーズに行なわれ評価を得ています。

